

# 産山発

# 未来へ

文責 校長 井 正成



学園 HP も随時更新中です

## 《学校教育目標》

**ふるさとを誇りとし 夢や目標に向かって 主体的に考え行動する 学園生の育成**

【育てたい資質・能力】 チームワーク(協働する力) チャレンジ(挑戦する力) シンキング(考え抜く力)

## 産山学園校区体育大会 ～応援・ご参加・協力 ありがとうございました～

5月16日(土)に、絶好の天気の中で無事開催することができました。

開会式でも述べましたが「校区」という名前を残し、多くの村民の方に子供たちの姿を見ていただく機会として、また村民同士の交流の場としても大切な意味のある体育大会であったと考えています。子供たちにとっても、目標に向かって、主体的に考え、協力し合い、一つの事を成し遂げる貴重な経験として、十分に達成感や満足感を感じることができる体育大会であり、この学校便りの上部に掲載している学校教育目標に向かうための、年度初めの意味ある大切な行事であったと捉えています。

保護者の皆様には、子供たちへの応援・種目への参加・役員や終了後の後片付けへの協力まで、大変お世話になりました。保護者の皆様の協力のおかげで、この体育大会を無事終了することができました。この場を借りて心よりお礼申し上げます。今後とも学校教育へのご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

## 「チャレンジ弁当」の日

体育大会の予備日の関係で、給食のない日を利用した「チャレンジ弁当」の日を実施しました。当日の朝、子供たちはいつもより早起きして弁当づくりに取り組んだことと思いますし、弁当づくりを通じて家族の会話も弾んだのではないかと思います。昼食時、各教室を回りましたが、作ったお弁当はとても美味しそうにできており、子供たちが笑顔で食べている姿がとても印象的でした。

「弁当の日」(本校では「チャレンジ弁当」)は、2011年に香川県の小学校で始められた子供が自分でお弁当を作って学校に持ってくるという取組です。産山での「チャレンジ弁当」の取組も、調べてみると2012年にスタートしていて、15年目を迎える歴史の長い取組です。何を作るか決めることも、買い出しも、調理も、弁当箱に詰めるのも、片付けも子供がするようにしている学校もありますが、本校では、弁当づくりの方法を実態に合わせてコースを選択して取り組めるようにしています。「弁当の日」(「チャレンジ弁当」)の取組の効果として、子供たちは自分でお弁当を作ることを通して、感謝の心を知り、自己肯定感が育まれます。また、失敗の中から多くを学び、生きる力を身につけていきます。大人は子供を見守る大切さを知り、子供との会話が増え、笑顔になります。

「食べることは生きること」と言われます。「チャレンジ弁当」の取組が、一人一人の子供たちの、今や将来を「生きること」について考えることにつながればと思います。

## 「親の学び」オンデマンド講座

熊本県教育庁社会教育課では、保護者向けの学習資料として、オンデマンドによる保護者向け研修資料を youtube で提供しています。この学校便りからも QR コードを通じて視聴できるよう情報提供いたします。今回は、「子どもとの接し方」という内容です。子どもさんへの言葉かけのヒントになるような内容ですので参考にしていただければと思います。



子どもとの接し方

## 6月～8月の主な行事予定(保護者関連の行事は青で記載しています)

<p>6月 3日(水) 水難避難訓練 ※大雨時の保護者迎えによる下校訓練です。 ご協力をお願いします。</p> <p>6月 8日(月) プール開き(基準日)</p> <p>6月12日(金) 産山村人権教育研修会 漢字検定(3～9年)</p> <p>6月15日(月) 中体連選手激励会</p> <p>6月20日(土)～中体連夏季大会(西原村)</p> <p>6月25日(木)～26日(金) 5年 集団宿泊教室 (水俣・芦北)</p>	<p>7月15日(水) 給食試食会、授業参観、PTA 例会 救急救命法講習</p> <p>7月17日(金) 夏休み前集会</p> <p>7月18日(土)～8月25日(火) 夏季休業日</p> <p>7月21日(火)～23日(木) 保護者教育相談(1～8年) 三者面談(9年)</p> <p>7月27日(月)～29日(水) 5～6年 海山交流 (天草市御所浦町)</p> <p>8月 1日(土) ヒゴタイ交流出発 ヒゴタイ祭り(4～6年 ヒゴタイ太鼓出演予定)</p>
---	---

## 「産山村人権教育研修会」に参加して学んでみませんか

- 1 日 時 6月12日(金) 15:10～16:40
- 2 場 所 産山村基幹集落センター
- 3 演 題 「メンタルヘルスと人権」～他者を大切にするコミュニケーション～
- 4 講 師 ○○○○

### 【講師からのメッセージ】

～正しさを届ける前に、まず心にそっと寄り添うことから～

子供も大人も、自分の力で人生を歩み、幸せに生きていくためには、安心できる関係があってこそ、自分らしく前に進むことができます。まずは、違いを知ることから。心がふつと軽くなるような対話を、職場・学校に関わるみなさんと一緒に広げていけたらうれしいです。やさしさがあふれる職場や学校づくりを心を込めてお手伝いします。

親と子供の関係においても役立つ内容かと思います。

私たち大人は、子供たちに対して、正しく育てほしいという願いから、「～～しなさい」といった指示や話をしてしまいがちです。しかし、大人からの正しさを届けようとする事ばが、子供たちの心に届いていないことは、よくあることです。

講師からのメッセージに【～正しさを届ける前に、まず心にそっと寄り添うことから～】とあるように、安心して話せる関係があってこそ、子供たちも自分らしく前に進むことができるのだと思います。

貴重な研修の機会として、是非ご参加ください。